

この製品は、緊急時の避難用キャリアです。長時間は使用しないでください。装着する人や、介添えする人を事前に決めておき、避難訓練の際に装着方法を必ず確認・練習しておきましょう。

# EVACKiDS® 避難くん®

## 避難用2人抱きキャリア ベストタイプ 取扱説明書

2人用

- 2人同時に保持できる避難用抱っこひも
- 表生地に防災加工生地を使用
- 首がすわってから1人あたり約10kgまで

セット内容：本体・ホイッスル・収納袋・取扱説明書  
素材：ポリエステル100%（表生地は防災加工）  
品番：01-138



内側ポケットに  
ホイッスルが入っています



吊り下げて下から出せる  
収納袋付き



キッズデザイン賞受賞



KIDS DESIGN  
AWARD 2020

### ご使用前に必ずお読みください

子どもの安全のため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。  
この取扱説明書は大切に保管してください。

#### ⚠️ 落下・窒息の危険性

- ・子どもが開口部から落下する恐れがありますので身体を傾ける（前かがみ）際は子どもを手で支え、頭が下向きにならないよう膝を曲げてください。
- ・調節具は確実に留め、子どもの体型に合わせて調節してください。
- ・子どもの気道をふさぐことのないよう、子どもの状態に注意しながらご使用ください。

#### ⚠️ 装着脱時の注意

- ・製品の着脱は必ず安全な場所で低い姿勢で行ってください。
- ・保持者ひとりでも装着できますが、第三者の方に介添えしていただいた方がより安全です。
- ・子どもが落下する恐れがありますので、各部のバックルがしっかりと留められている事を確かめてください。
- ・1箇所でも調節具が破損したり、生地や糸にほつれ、やぶれ、傷などが生じた場合には、ケガや誤飲の恐れがありますので絶対に使用しないでください。また、装着後も調節具やテープにゆるみがないかお確かめください。

#### ⚠️ 使用上の注意

- ・子どもを支えるために必ず手を添えてください。
- ・ご使用中は子どもの頭で前方や足元の視界が妨げられないようご注意ください。
- ・バックルの開口部に子どもの指や手を入れたり、バックル等の部品に挟まないようご注意ください。
- ・ベルト先端の三つ折りは、ほどいたり切り落としたりしないでください。
- ・この製品は長いベルトを使用しているため、誤ってベルトが巻きつくなど窒息の恐れがありますので、子どもが引っ張ったり振り回すなどしないよう十分にご注意ください。
- ・体調がすぐれない時や、身体に痛みを感じた場合はご使用をおやめください。
- ・自転車やプランコなどの乗り物に乗ったり、両手の自由を奪われるような動作は絶対におやめください。
- ・製品を使用しない時は収納袋に入れ、子どもの手の届かないところに保管してください。

#### お手入れ方法

- ・中性洗剤を使用し、洗濯ネットに入れて「弱」や「手洗い」などで洗濯してください。
- ・漂白剤のご使用はおやめください。
- ・蛍光剤入りの洗剤は移染の恐れがありますので使用しないでください。
- ・色落ちすることがありますので、他のものとは別に洗ってください。また、つけ置き洗いはおやめください。
- ・現在の染色技術では、汗や摩擦による多少の脱色や移染は避けられませんのであらかじめご了承ください。また、収納袋の印字部分が移染する可能性がありますので、他のものと重ねずに吊り下げて保管してください。

- 予告なしに多少の仕様が変わることがあります。
- 製品には万全を期しておりますが、万一異常が認められましたら直接販売元、または下記にご連絡ください。

お問い合わせ先：日本エイトックス株式会社  
商品センター 048-922-0003（平日9時～17時まで）



日本製

EIGHTTEX

製造元：日本エイトックス株式会社  
東京都文京区千駄木 4-11-10  
www.eighttex.co.jp



4 960110 320275  
ヒナヨウ2ニンダキ OR

材質・部材は十分に選別しておりますが、経時劣化は避けられません。  
使用頻度にもよりますが、**使用開始から約3年を耐用年数としてお考えください。**取扱説明書なしで第三者に譲ったり貸したりしないでください。  
また、取扱説明書や注意事項を読まずに使用された場合には賠償責任保険が適用されない事もありますのであらかじめご注意ください。

※保持者ひとりでも装着できますが  
介添えした方がより安全です。

## — 装着方法 —

1. 保持者がベストを装着する。
2. ウエストバックルを留め、保持者の腰のサイズに合わせてしっかりベルトを調節する。
3. 片側に子どもをひとり入れる。その際、カラーベルトは子どもの脇の下を通すようにする。
4. カラーベルトを保持者の胸の前で交差させ、同じカラーベルトのバックルを留め、ベルトで位置を調節する。
5. 反対側も同様に子どもを入れ、カラーベルトのバックルを留めてベルトで位置を調節する。
6. 子どもの大きさに合わせてベルトをコキで調節する。

